

耐震診断の

申込みから結果報告までの流れ

申込書を市役所に提出

別紙申込書に必要事項を記入し、**建築課**へ持参・郵送またはFAXで申込みしてください。
締め切りは毎月末日です。

市から「耐震診断実施決定通知書」を郵送

通知書には、市から委託を受けた耐震診断員の氏名・「愛知県木造住宅耐震診断員」の登録番号・連絡先電話番号が記載されています。診断員は愛知県の耐震診断員養成講習会を受講した地元の建築士さんです。

耐震診断員から現地調査の日程調整の連絡

調査日時の連絡は、診断員から電話や郵送で行われます。双方の都合の良い日時を調整してください（診断員によっては土・日・祝日でも可能な場合があります）。

現地調査（立会い）

現地調査は1～2時間程度かかります。間取り図があれば用意してください。また、天井裏・床下を点検できる場所があれば、周りを少し片付けておいてください。

診断結果の報告
一般的な補強アドバイス

後日、診断員が「木造住宅耐震診断結果報告書」をもって説明にうかがい、診断結果に基づき一般的な補強アドバイスと改修工事を行うときの目安となる工事費も併せてわかるようになっています。

そして診断が終わり、総合評価が**1.0未満**と診断された住宅を対象に**耐震改修工事を行うときに補助が受けられます。**

□木造住宅耐震改修費補助金

市が実施している「木造住宅無料耐震診断」を受けた住宅で、総合評価が**1.0未満**と診断された住宅を**1.0以上**「一応倒壊しない」とする住宅が対象です。（ただし、**0.7以上1.0未満**「倒壊する可能性がある」の場合は、総合評価に**0.3**加算した数値以上とするものに限る。）

補助金は**最高90万円**

詳しくは **工事を始める前に 建築課へご相談ください。**

稲沢市

稲沢市は東南海・南海地震の

震防災対策推進地域

わが家の木造住宅

に指定されています。

無料耐震診断



東海・東南海地震が同時発生した場合、市内の84%の地域で

震度 6弱 と予想されています！

平成7年の阪神淡路大震災で死亡したかたのうち、

約8割 が **家屋の倒壊等による圧死・圧迫死** でした

84%
建物の倒壊等による
圧死・圧迫死

地震による家屋の倒壊から身を守るには、どうしたらよいのか、『家族が安心して過ごすためにも、まずは住まいの耐震性』を確認しましょう。

無料耐震診断が受けられるかたは、以下の質問①に該当する方です。

質問 1

建物は、
いつ建てられましたか？

- ① 昭和56年5月31日以前
- ② 昭和56年6月1日以降

②の場合

耐震性の高い建築基準で
設計されています。

①の場合

質問 2

その建物は、
どんな構造ですか？

- ① 木造の在来軸組構法・・・
- ② その他の構造（プレハブ・鉄骨造
・ツーバイフォー・鉄筋コンクリート造など）

在来軸組構法 とは？

土台・柱・梁・すじかいなどで
構成されているものです。

②の場合

この診断票での診断および**無料**
耐震診断の対象となりません。
設計者や建築業者に相談してく
ださい。

①の場合

質問 3

稲沢市の**無料耐震診断**を
希望しますか？

- ① 希望する
- ② 希望しない

②の場合

市役所建築課窓口で、耐震
相談を行っていますので、
ご相談ください。

①の場合

別紙の申込書に記入し、**市役所建築課**へ持参・郵送またはFAXで
申込みしてください。

申込みは住宅の所有者に限ります（法人も可）。

わが家の簡易耐震診断をしてみましょう

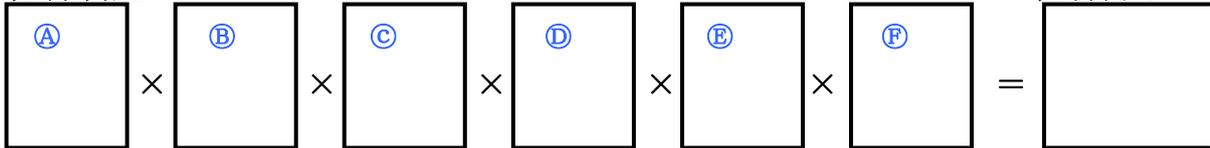
(ご自宅の建物を右の説明資料を見て、**Ⓐ**～**Ⓕ**の各評点をかけ算して総合評点を求めてみましょう。)

記入上のご注意

Ⓐ地盤・基礎の評点は下表の数値を参考に、また、**Ⓑ**～**Ⓕ**までは右の説明資料の該当する数値を参考にしてください。

基礎	地盤	良い・普通	やや悪い	非常に悪い
鉄筋コンクリート造の連続した基礎		1.0	0.8	0.7
無筋コンクリート造の連続した基礎		1.0	0.7	0.5
ひびわれのあるコンクリート造の連続した基礎		0.7	0.5	0.3
その他の基礎 (玉石、石積、ブロック積)		0.6	0.4	0.2

総合判定



総合評点

総合評点	判定
1.5 以上	倒壊しない
1.0 以上 1.5 未満	一応倒壊しない
0.7 以上 1.0 未満	倒壊する可能性がある
0.7 未満	倒壊する可能性がある

総合評点 1.5 未満の場合は、専門家による耐震診断 (無料) をお勧めします。

総合評点が 0.01 < 総合評点 ≤ 2.25 とならない場合はかけ算が誤っています。もう一度計算してください。



こんな点には、十分ご注意ください。

- 今回の診断をもとにした改修等の営業活動は一切行われません。
- 診断結果によって、改修を強要されるものではありません。
- 申込をしていないお宅に、診断員が訪問することはありません。

説明資料

簡易耐震診断票の各評点のつけ方

A 地盤・基礎

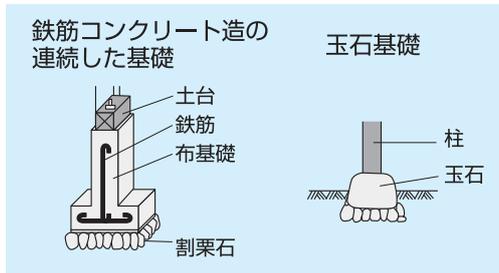
地盤の状況と基礎の形状により、該当する評点をつけてください。〔基礎〕

【地盤】

- 良い・普通…岩盤、砂れき層、洪積台地
- やや悪い……30mよりも浅い沖積層、埋立地及び盛土地で大規模な造成工事(転圧・地盤改良)によるもの
- 非常に悪い…30mよりも深い沖積層(軟弱層)、海・池・沼・水田などの埋立地、丘陵地の盛土地で小規模な造成工事によるもの

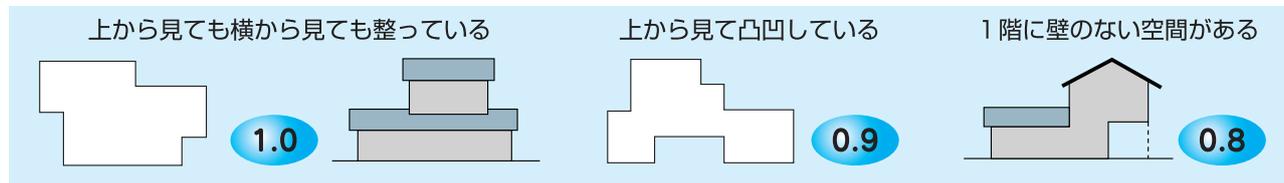
【基礎】

鉄筋が入っているかどうか分からない場合は、鉄筋がないものとしてください。

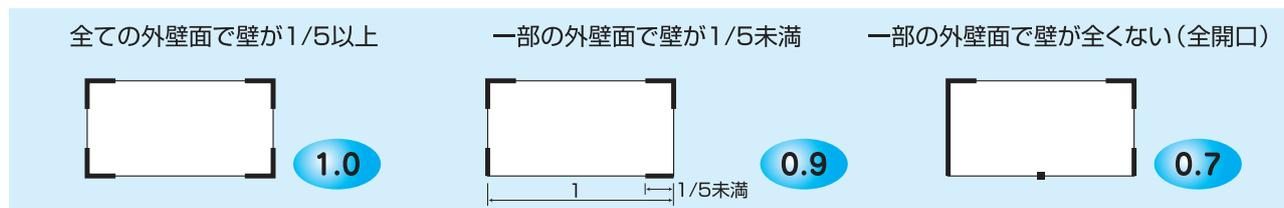


B 建物の形

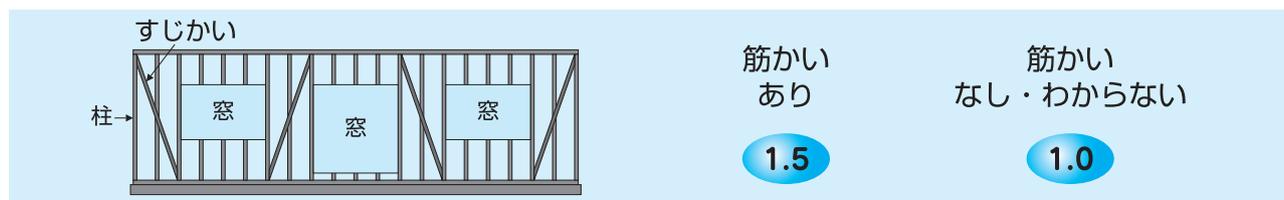
- 建物を上から見たとき、おおよそ四角いか、凸凹しているかで判断してください。
- 建物を横から見たとき、2階が1階より張り出しているところがあるかで判断してください。



C 壁の配置 (バランス)



D 壁の筋かい



E 壁の割合

- 1階部分について、下の図を参考に壁の量をだまかに判断し、評点を決めてください。
- 2階建ての場合は、「2階建」の数値を使ってください。

平屋	2階建								
1.5	1.2	1.5	1.0	1.2	0.7	1.0	0.5	0.7	0.3

F 建物の傷み具合(老朽度)

- | | | |
|--|---|--|
| <p>健全 1.0</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新築後まもないもの ○新築時の良い状態が続いているもの | <p>老朽化している 0.9</p> <ul style="list-style-type: none"> ○屋根の棟の線や軒先の線が波打っているもの ○柱に傾きがあり、建具のたてつけが悪くなっているもの | <p>腐ったり、シロアリに喰われている 0.8</p> <ul style="list-style-type: none"> ○腐ったり、シロアリに喰われている ○土台をドライバーで突いてみて、ガサガサになっている。(特に建物の北側と風呂場周り) |
|--|---|--|